

我が郷土

10

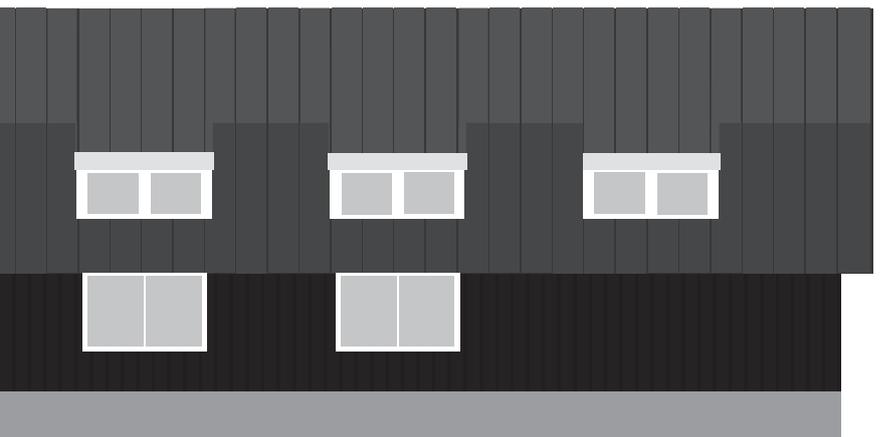
October 2014 (平成26年)
No.1038

一年間大切に育てたお米
一本一本丁寧に、はさがけ
あったかいご飯になりますように…

→9/24 田んぼの教室より(詳細は11ページ)

心を育む

食と農



「田んぼの学校」農舎イメージ図

「田んぼの学校」記者発表会菊川町長スピーチ全文

来春オープンの当麻町食農教育施設「田んぼの学校」の工事着工を受け、九月八日、同建設予定地横に立地する当麻町公民館まともーるにおいて、菊川町長が報道機関に対し、施設の運営理念をテーマに記者発表会を行いましたので、そのスピーチ全文をお伝えします。

■はじめに

皆様、こんにちは。当麻町長の菊川でございます。

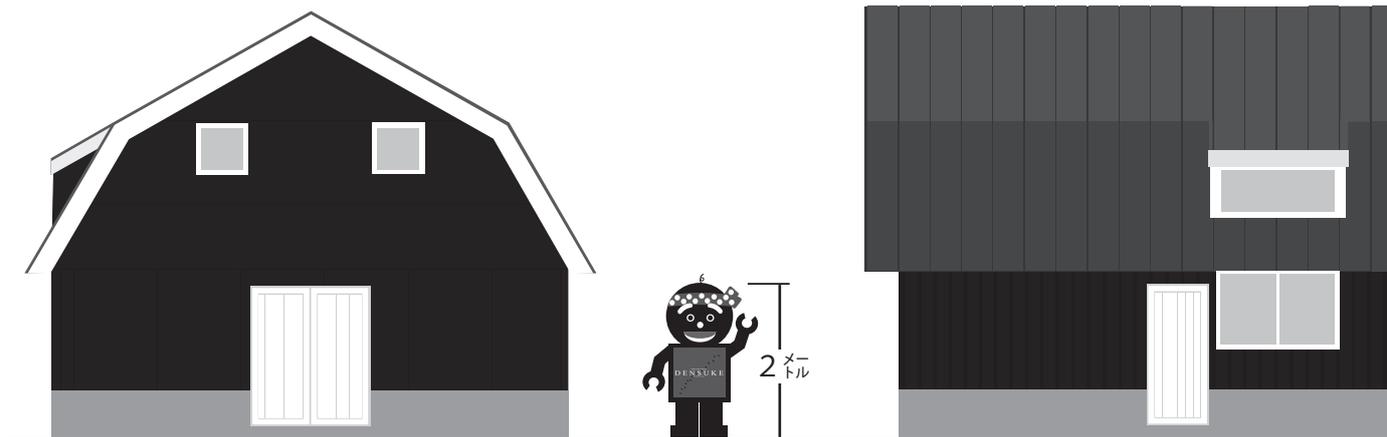
本日、お集まりいただきました皆様には、常日頃より、当麻町のまちづくりに対しまして深いご理解をいただき、多大なるご協力をいただいておりますとともに、本町の情報を幅広く発信していただいておりますことを、この場をお借りし心より厚く御礼申し上げます。

さて、かねてよりご案内申し上げましたとおり、本日は、来春のオープンを目指し、去る八月二十七日に農舎の工事がスタートし、十月には、圃場の造成工事が発注される予定であります、当麻町食農教育施設「田んぼの学校」について、お忙しい皆様の貴重な時間を拝借することになりますが、その存在意義、それは私が考える運営理念とでも言うべきものであります、私の思いの一端を、お話させていただきたいと考えております。

この「田んぼの学校」の取り組みが、未来を創造する子どもたちのために、北海道内のみならず、広く国内に広がりますことを心から祈念いたしまして、スピーチをさせていただきます。

■日本の原風景である田んぼ

一瞬、言葉を失う、美しい田園風景が、私の住む当麻町には広がっております。



それは、田舎であればどこにでもある、そこに住む人々にとりましても、ごく日常的な、ありふれた風景に過ぎません。

しかし、田んぼが放つ色彩と、たくさんの生き物が成すその景観に、安らぎや癒しを感じない人などいないでしょう。

田んぼは、単なる産業としての生産の場を超え、日本人の「心」の根幹を形作っている。そう言っても過言ではないと思います。

また、洪水防止や土砂災害防止機能、水源涵養や大気の浄化、多様な生物の保全等の、いわゆる国土保全機能を果たしています。

さらに、農業・農村の有する美しい景観は、人間が農業を営む中、自然と一体となって形成されてきたものであり、都市では見られない郷愁を人々に訴えかける保健保養の場として、さらには、自然環境教育の場としての社会的、文化的機能など、社会に役立つ有形・無形の価値が、そこから生まれているわけがあります。

■「田んぼの学校」

実際、私どもの計画している「田んぼの学校」は、子どもたちが自らが手をかけて育てた水稻を、学校給食で使われるお米に、全量あてることを目標としています。

転作田部分では、給食で使用する一部の野菜を生産するとともに、親子で栽培・収穫・調理を体験する圃場として活用いたします。

それらの農業体験活動から、子どもたち自らが土に触れ、そこで出来たものを食する、臨場感溢れる高度な食農教育、並びに味覚教育を実践してまいります。

また、食農教育が、技術論のみではなく、食と、食を取り巻くものの学習から、子どもたちの人間形成を成すものであるならば、本町の農業者の皆様が歩んでこられた郷土の歴史、それを子どもたちに伝えることは、必須のことと考えているところであります。その意味から、「田んぼの学校」敷地内に建てられる農舎では、昔

の農具や当麻農業の歴史年譜をパネル展示いたします。

さらに、農舎では、町産材を加工した時に出るオガクズを、浄化処理剤として使用するバイオトイレを設置し、使用後のオガクズは、転作田の作物の肥料として活用し、地域生態系内における資源循環の、臨場感溢れる生きた教材といたします。

また、環境問題を身近に学ぶ教材としてはもう一つ、農舎の一部電源として、再生可能エネルギーを産み出す、太陽光発電システムを導入いたします。

なお、我が町では、農業用水を活用した小水力発電施設の導入を平成二十七年、二十八年の二カ年で計画しておりますので、このバイオトイレ、太陽光発電システムと併せた三つの施設を、子どもたちの環境教育の場としていきたいと考えております。

また、圃場内を通る管理道の一部には、キタコブシの並木道を防風林として植栽し、誰もが立ち寄れる全長約六百七十メートルのあぜ道遊歩道として整備することから、広く一般の親子が、四季折々の彩りを楽しみながらウォーキングできる、アクティビティ(余暇活動・遊び)の場として使う構想であり、この仕組みには、非農業者の方々の、本町農業への理解を醸成する意味合いもございます。

しかし、施設が出来上がることを以て、事業の完成とは捉えておりません。この施設に魂を吹き込むには、「田んぼの学校」というハードを使い、いかなる理念に裏打ちされた、ソフト事

業が展開されるかに懸かっているのです。

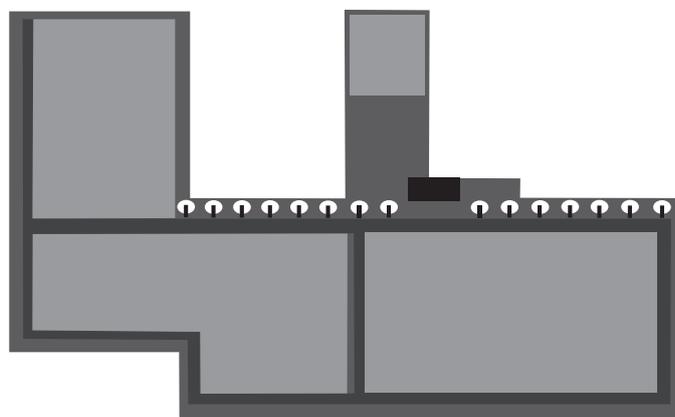
■心育／命の尊さを知る

「農業」という、人の営みに込められた「心」を感じ取る力を、子どもたちに備えていただきたい。

今の、そして、未来の当麻の子どもたちの「心」のふる里であつてほしい。

これらのことが、私の思い描く「田んぼの学校」の姿であります。

それでは、そこで行われる教育活動を「心育」、いわゆる「心」の教育と名付けましたなら、何を為すべきか、何を尊ぶものでなくてはならないか。お話しをさせていただきたいと思えます。私は大きく、それを二つの視点から考えております。



「田んぼの学校」圃場平面図(イメージ)

そのまず一点目、「田んぼの学校」は、「命」を尊ぶ「心」の教育の場であること、やがて、子どもたちの「命」に関わるものでなくてはいけない。そう考えております。

世界広しと言えど、日本以外には無いと思われる言葉があります。

それは、「いただきます」の六文字であります。食を生産された、または、提供してくださった方への感謝の気持ちの表明であることは、言うに及びません。

人が生きるために、動物や植物の「命」をいただき、食べることに対する感謝の気持ちがある、その、たったひと言に詰まっております。

「いただきます」は、美しい田園風景とともに、日本人の食への思想、真摯さを表す「心」の言葉として、長く受け継がれてきたものであります。

そして、もう一つ大切なことがあります。人の「命」は、土とつながり、土に育まれているということなのです。

正に、人は自然の一部であり、太陽や土や水などの自然の恵みを受け、育った作物の「命」をいただき、生きていくということ。

それは、食べものではなくとも、当麻町の特産農作物である、花もまた同じであります。

人の心に優しさや愛情、いたわり、思いやり、潤いという「心」の糧をもたらしものを、私は、それを「命」と置き換えてもよろしいのではないかと考えております。

私はそのことを、国内最高峰のバラ生産者の一人と言わせていただいても過言ではないと思います、本町にお住まいの黄木實さんから学ばせていただきました。

「バラは切り花で命を終えることを望んでいないはず、実を結び、次世代につなげていきたいことでしょう。切ることは心が痛む。人を感じさせるバラを作らないと、花に申し訳ない」。

そう、黄木さんは、命を摘み取る生産者の覚悟を話していました。

もうスタートして七年目になりますが、当麻町では、就学前の子どもたちの誕生日には、私と町の管理職で手分けをして、それぞれの家庭に毎年、絵本とともにバラの花束を、お届けに上がっております。

それは、子どもたちの無垢な「心」に、優し

さや、いたわりの、「命」の種を蒔いてあげたいからであります。

私は、その「命」というものの大切さを、将来を担う子どもたちが、実際に土に触れる体験から、臨場感を以て知っていただきたい。

昨今、食習慣の乱れがもたらす、子どもの情操教育上での悪影響が取りざたされ、それだけが原因ではないと思われませんが、「命」の重みを軽視した、少年による凶悪事件がテレビや新聞、雑誌を賑わせております。

その事は、子どもたちが自ら蒔いた種ではありません。

また、往々にして家庭や関係機関ばかりが責められますが、我々大人が作りました社会や地域、そこに問題があったのではないだろうか。そういう誤った「心」を作る環境を、大人たちが作ってしまったという側面があったのではないのでしょうか。

今一度、我々大人は、「命」ということ、「心」ということを、さらに、真剣に考えなくてはならないと思います。

「田んぼの学校」は、子どもたちの食農教育のためにあります。

しかし、今申した「命」、「心」ということを考えた時、食農教育は、技術論が第一の目的であってはいけないとも考えるのです。

「命」を尊ぶ心の教育、心育の場であること、そこで作られた農産物のみならず、行われたことと全てが、やがて、子どもたちの「命」に関わるものではなくてはいけません。

それが、私の考えます「田んぼの学校」の存在



理由、まず一つ目の理念であります。

■心育く故郷の風土を愛する

そして、心の教育、心育の場として尊重すべき、もう一つの理念。

「田んぼの学校」は、故郷の風土を愛する、「心」の教育の場ではなくてはならないと考えます。「心」から育まれる「命」、イコール農作物と捉え、いざ、そのものに視点を転じてみますならば、それは、当たり前のことではございませんが、オートメーション機械の工場で作られ、いきなりお店に並ぶものではないと思いませんか。

お米であるなら、まだ、冬の終わらないうちから苗を育て始め、まだ寒い春の作業に耐え、

夏の熱さをしのぎ、苦勞を乗り越え実りの秋を迎える、農業者の皆様が、ご家族と共に流された汗の結晶に他なりません。

今、私たち町民が普通にここで暮らすことができているのは、先人がいて、その農の伝統が親から子へ、子から孫へ営々脈々と受け継がれてきたからであり、先人が自然と格闘し勝ち取ったものである。

正にそれは「風土」、人の営みに込められた「心」が、自然や環境との格闘の中、文化にとけ合った、「風土」と言うべきものであると私は考えています。

「風土」とは、ただ受け身に人間の生き方を決定する環境ではなく、人間が能動的に作り出す、自然や環境との関係そのものであります。

いかなる困難でも、力強い意志があれば、乗り越えることができる。

事実、筆舌に尽くせない、艱難辛苦かんなんしんくを乗り越えた、先人の血と汗と涙の染みこんだこの土に我が町は立ち、繁榮し、たくさんの人を育み、郷土の誇りを後世の私たち町民に与えてくれました。

北海道産米は、新潟県産米と収穫量日本一を争うどころか、改良が進んだ新品種は、美味しさを争うところまでできております。

さらに、当麻産米は、十二年連続で北海道産米ランキングの一位に輝いております。

今や当麻町は、日本の米どころなのです。

また、国の減反政策による窮状きつじょうを打破すべく、田(でん)を助ける救世主として、今から三十年以上前に生まれたのが、今や国内最高級ブランドの「でんすけすいか」であります。

さらに、国内最北限の取り組みとして知られる、品質日本一の夏バラ、生産量・生産額ともに北海道一のキュウリ、菊などを擁し、今我が町は、名実ともに北海道農業の中核を担う立場にあります。

いつの時代も我が町には、苦境にあつても、決してあきらめない農の英雄たちがいたということ、そのことを、我々当麻町民は決して忘れてはいけません。

この当麻町の命を育んできた「風土」を知り、先人を慈しみ、その地域を愛し、誇ることができ。そのような、「愛郷」の「心」を育む「田んぼの学校」にしなければ、先人に対して申し訳が立たない。

心からそう思うのであります。子どもたちが、自信を持つてふるさとの農業を語ることができる。そこに息づく、人や農産物を誇りに思えるということ。

郷土を素直に愛するということ。それら、人として最も尊ぶべき大切な「風土」、環境を作ってくれた、我が町の農業者の皆様に対しまして、ただただ頭が下がる思いであります。

また、個々の農業者の皆様ではなく、集落単位で郷土の農業の歴史を考えました時、土地を平らにするのも、川やため池から水を引くのも、災害から田を守るのも、「結い」とも言います相互扶助の精神、郷土への思いを同じくする、人々の和が成しえたものであります。

今でこそ、機械化が進み労力が軽減され、田

植機や稲刈機を経営体それぞれが所有する時代になりましたが、郷土の皆が助け合う精神は、今でも当麻町内各地域での共同作業や催事、または、多数町内にあります米や野菜、花きの生産者組織のあり方の根底に、連綿と受け継がれております。

■おわりに

今まで、「田んぼの学校」の運営理念、存在理由というべき、私が重要と考える二つのことについて、お話をさせていただいてきました。まず一つ目は、「命」を尊ぶべき「心」の教育の場であること。

そして、「愛郷」、郷土を愛する「心」の教育の場であること。

当麻の子どもたちも、いずれ親となります。または、農業生産の担い手となり、それに対するところの消費者になるとも言えるでしょう。

その時に、自分の「心」と体、すなわち「命」を育んできた故郷の生業なまわいのことを、その二点の、人が尊ぶべき最も大切なことから語れる大人になつて欲しいというのが、私が今日、お話をさせていたただきたいことの着地点であります。

「田んぼの学校」の遊歩道には、北国の春の訪れを象徴し、「北国の春」の歌でも唄われたキタコブシの並木、これは田んぼを風雪から守るための防風林ではありますが、ふるさと当麻を喚起させる「ランドマーク」として、農舎をはさみ

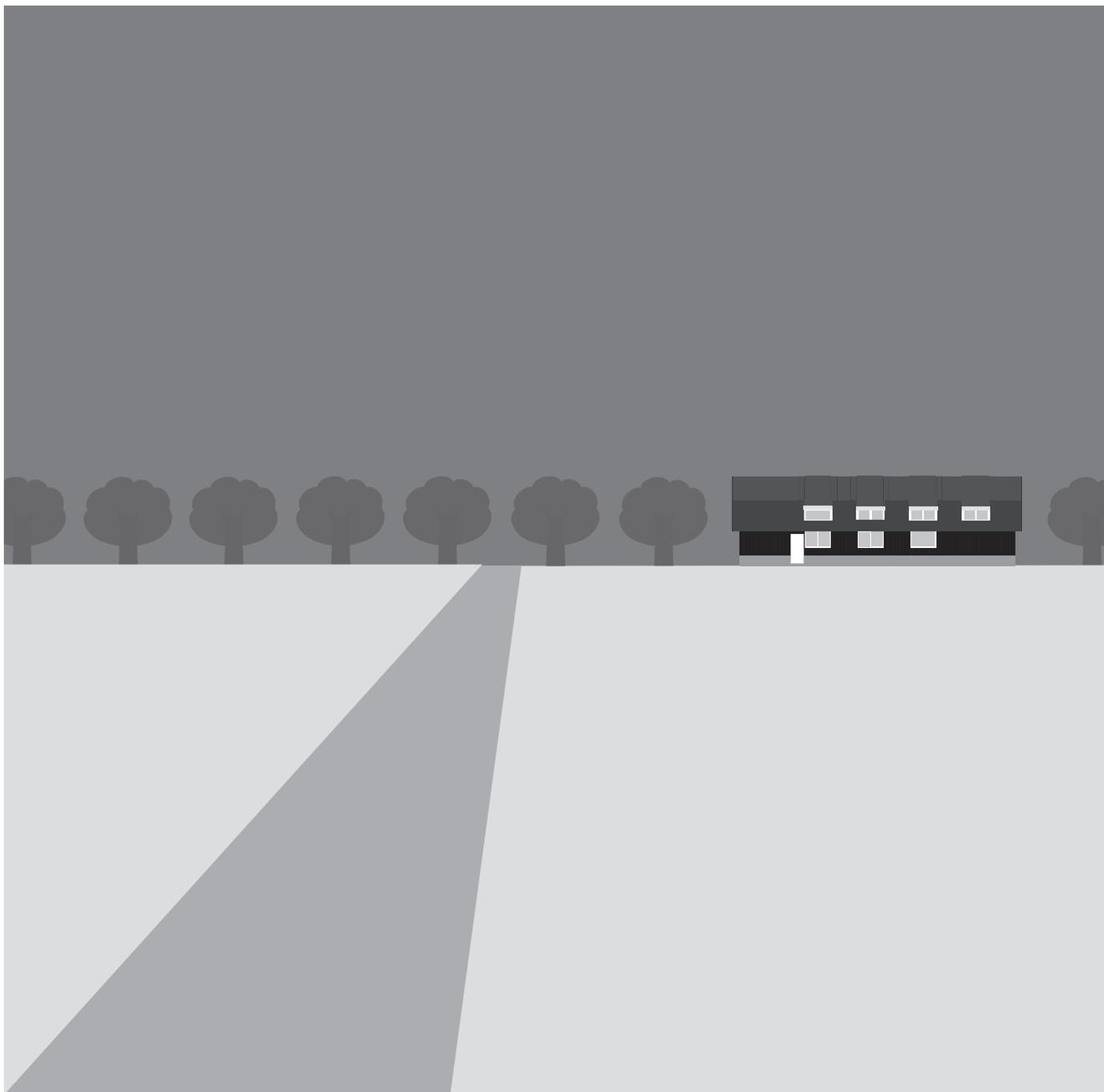
植機や稲刈機を経営体それぞれが所有する時代になりましたが、郷土の皆が助け合う精神は、今でも当麻町内各地域での共同作業や催事、または、多数町内にあります米や野菜、花きの生産者組織のあり方の根底に、連綿と受け継がれております。

今でこそ、機械化が進み労力が軽減され、田

植機や稲刈機を経営体それぞれが所有する時代になりましたが、郷土の皆が助け合う精神は、今でも当麻町内各地域での共同作業や催事、または、多数町内にあります米や野菜、花きの生産者組織のあり方の根底に、連綿と受け継がれております。

今でこそ、機械化が進み労力が軽減され、田

植機や稲刈機を経営体それぞれが所有する時代になりましたが、郷土の皆が助け合う精神は、今でも当麻町内各地域での共同作業や催事、または、多数町内にあります米や野菜、花きの生産者組織のあり方の根底に、連綿と受け継がれております。



緑の遊歩道にそって、横一列全長百メートル以上にわたり整然と並びます。

「ランドマーク」とは、その土地の象徴となる目印を言いますが、旧来の意味は、探検家などが目的の土地に戻るための、地理上の特徴のある物のことでございます。

正しく、キタコブシの並木は、子どもたちが故郷を離れた後も、農体験を思い起こし、末永く当麻を思いう原風景となるべく設置するものがあります。

桜より早い四月に咲く、その無垢な白い花は、古来よりその年の五穀豊穡を占うものとされ、咲き方が上向きなら日照り、下向きだと長雨、横向きだと風の日が多いと言いつたえられております。

また、その花言葉は、「友情」であります。

農業体験の指導者から語られる、それらの話は、当麻で生まれた子どもでもあるなら、誰一人として知らぬ者はいない逸話となり、この町の出身者をつなぐ、固い「絆」の役割を果たし、それぞれの子どもたちの「物語」を彩っていくことでしょう。

「田んぼの学校」は、子どもたちの「心」のふる里であってほしい。

そして、自ら紡ぐ「物語」の途上、子どもたちがこのふる里に帰ってきたなら、いつでも「おかえり」と優しく迎えることのできる、温かい当麻町でありたい。

そう思っ、この事業に取り組んでまいりますので、皆様方のご支援を心からお願ひ申し上げます。私の話を終わらせていただきます。

大変ありがとうございました。

(終了)



賞状

当麻町公民館「まとまーる」

施工者 盛永 富山 石川 経常 建設 共同 企業 体 殿

設計者 株式会社 山下 設計 北海道 支社 殿

あなたの作品は木材利用推進中央

協議会主催の平成二十六年 度 木 材

利用優良施設審査において優秀と

認められたのでこれを賞します

平成二十六年七月三十日

林野庁長官 今井 敏

まとまーる林野庁長官賞、森林組合製材機導入合同祝賀会

当麻町公民館「まとまーる」の林野庁長官賞受賞と、当麻町森林組合(中瀬巨組合長)の製材機導入の合同祝賀会が9月12日、公民館まとまーるで開催されました。

まとまーるは町産材を有効活用し、また、設置される家具も町産材で作されたことが高く評価。木材利用優良施設コンクールで、最高賞の農林水産大臣賞に次ぐ林野庁長官賞に選ばれました。

また森林組合は、フランス製の最新鋭の製材機を国内で初めて導入。年間生産量は従来約3割増を見込みます。

祝賀会で菊川健一町長は「町産材を大切に使用したいという思いが評価されたのがうれしい。これからも森林組合とタッグを組んで山を大切にしたいです」とあいさつ。

中瀬組合長は「林業は、木を切り、また育てることを繰り返す長期ビジネスが大切な産業です。今回の設備は未来へ希望が持てるものと考えています」と延べ、笑みを浮かべました。

この日は関係者約200人が出席。当麻町林業振興の新たな門出を祝いました。





「まともーる DEClassic」音楽の力でマチを元気に！

大平まゆみコンサート feat. TSUNAMIバイオリンプロジェクト「千の音色でつなぐ絆」

今年4月に完成した当麻町公民館まともーるで、さまざまなジャンルのコンサートを開こうと町民有志で結成された「とつま音楽工房」。

9月28日、「大平まゆみコンサート feat. TSUNAMIバイオリンプロジェクト「千の音色でつなぐ絆」を同公民館まともーるで開催しました。

国内外で活躍する札幌交響楽団バイオリン奏者でコンサートマスター、大平まゆみさん。ソロ演奏のほか、ピアノ伴奏の明上山貴代さんとのデュオでチャルダッシュなどクラシックの名曲を奏でると、大きな拍手や「ブラボー」などと歓声が場内に響き渡りました。

第2部は、「津波バイオリンプロジェクト・千の音色でつなぐ絆」。東日本大震災の津波に耐えた陸前高田市の「奇跡の一本松」などを使用して製作された「TSUNAMIバイオリン」が登場。

プロジェクトの推進団体「クラシックフォー・ジャパン」の事務局長、大庭泰三さんは「震災で起きたことを風化させずに、復興が終わるまで支援を続けていきたいと活動しています。TSUNAMIバイオリンが全国で音楽家に演奏され、その音色をリレーのように繋げていく。お客様には大平さんが奏でる音色から、被災地のことを感じていただきたいと思います」とTSUNAMIバイオリンの誕生物語や、復興支援の現状などについて語りました。

297人目のTSUNAMIバイオリン奏者として楽器を手渡された大平さんは、震災復興支援活動として演奏会なども積極的に実施している音楽家。「仙台市に実家があり、東日本大震災では母の安否が本当に心配でしたが幸い無事でした。震災で心に深い傷を負った方たちに対して自分ができることは何なのか。音楽の力で少しでも元気になってもらうことだと思っています」と語り、アヴェマリアなどを奏でました。

また、復興支援ソング「花は咲く」を大平さんの演奏にあわせ来場者全員で合唱。それぞれが被災地への思いを込めるように歌声を響かせました。今回のコンサート収益金の一部は、東日本大震災復興支援金として寄付されます。

主催した「とつま音楽工房」代表、石黒康太郎さん(33)は「初めての企画でしたが、本当にすてきなコンサートになりました。多くのおみなさんのお気持ちに感謝します」と述べ、「今年5月に思いをもった異業種、多世代の方が集まり発足した『とつま音楽工房』。音楽の力でマチを元気にしたい。これからもロックやジャズなど、ジャンル豊かにコンサートを企画していきたいです」と笑顔で意気込みを語りました。



長寿と健康祝い

全町敬老会でお祝い

町主催の当麻町敬老会が9月12日、公民館まごまごで開かれ、長寿と健康を祝いました。

町では満75歳以上の町民、1440人に案内状を送付し、約380人が出席。菊川健二町長が「食育、木育、花育での心の教育の場づくりに取り組んでいきます。子どもと保護者へ向け、経験豊かなみなさんの知恵とお力をお貸しください。これからもお元気でお過ごしください」とあいさつ。

米寿(数え年88歳)の12人が登壇し、菊川町長から祝い品が手渡されると、来場者から大きな拍手が贈られました。

その後、当麻幼稚園、保育園、トーマスチャイルドハウス緑郷園児たちが元気に歌や踊りを披露し、かわいらしい姿に出席者は笑顔に。当麻町商工会特産品開発委員会(長谷川浩保委員長)からは、出席者にと、でんすけさんちのすいかサイダー400本がプレゼントされました。

また同日、敬老会に欠席した喜寿、米寿、白寿の節目にあたる町民宅を町職員が訪問。長寿のお祝いの言葉を添えて敬老祝い金を手渡しました。

ストリートバスケット 16チームが熱戦

当麻で初開催
3オン3バスケットイベント

3オン3バスケットイベント「2014 Toma STREET

PARK」が9月7日、とうまスポーランド内のバスケットコートで初開催され、リズムカルな音楽にのりながら進行する試合展開に、集まった多くの観客が熱狂しました。

同実行委員会主催。旭川市で活動するチームを中心に町内外の社会人や学生など全16チームが参加。予選リーグ、決勝トーナメントが青空の下で行われ、男女混成チーム「L&G」が接戦を制し初代チャンピオンに輝

きました。

準優勝チーム「KTD」をけん引した当麻中出身の小林卓馬さん(19)。「バスケットが好き。そんな気持ちをもった人が集まって大盛り上がり楽しいイベントでした。来年もぜひ開催してほしいです」と笑顔を見せていました。

町内農業者で、自身も選手として出場した実行委員長舟山昌志さん(32)は「会場にいるみんなの笑顔を見てやってよかったと実感しました。最高です!」と声を弾ませました。

この日は、フィールドアスレチック、当麻鐘乳洞の無料開放チケットも会場内で配られたほか、飲食の出店もありイベントの雰囲気盛り上げていました。



自分で育てた お米大切に

「田んぼの教室」で
稲刈り体験

水土里ネット(当麻土地改良区)主催の稲刈り体験「田んぼの教室」が9月24日、中央4区の深谷正広さんの水田で行われました。

6月5日に同教室で田植え体験を行った当麻小学校5年生52人が参加。稲刈りを行った後、稲を藁で束ね、はさがけまでを体験。自分が育てた一本一本を丁寧に扱っていました。

参加した船木柊花さん(10)は「稲刈りは力が必要で大変でした。家の近くに田んぼがあるので、米ができるまでは何となく知っていましたが、体験してみても農業の大変さがわかりました」と笑顔を見せました。

大切に収穫したお米は精米後、子どもたちに贈呈され、収穫の秋を楽しむこととなります。



道の駅で 安全運転呼びかけ

当麻建設協会が
啓発活動

当麻町建設協会のメンバー11人が9月27日、道の駅とうまで交通安全キャンペーンを行いました。

社会貢献活動の一環として、秋の全国交通安全運動期間中に実施。メンバーは、道の駅を訪れるドライバーやライダーへ「交通安全に気をつけて運転してください」と呼びかけ、啓発チラシ、箱ティッシュなどを配布しました。

平野敏明会長は「秋の行楽シーズンで、交通量も増えていますが、歩行者や自転車に乗る方も交通事故には十分気をつけてほしいです。また我々建設業も繁忙期になります。日も短くなっているのです。安全運転を心がけます」と述べました。



道路ができるまでを 学習

カムイアスコン共同企業が
工場見学会を開催

日常の交通に欠かすことのできない舗装道路。舗装道路に使用されるアスファルトを製造している町内宇園別2区に工場を置くカムイアスコン共同企業が9月24日、宇園別小学校(大坪まゆみ校長)の全校児童12人を招いて工場見学会を行いました。

同企業が加盟する一般社団法人日本アスファルト合材協会設立30周年を来年に控え、その記念事

業の一環として行ったもの。
この日は、道路ができるまでの課程をスライドで学習した後、アスファルトの原材料に触れたり、実際に工事で使用している車両への搭乗などを行い、子どもたちからは初めての体験に歓声が上がっていました。

企業体の一つである道路工業株式会社常務取締役の曾根康行さんは「すぐ近くにあっても普段立ち入ることのできない工場で、触れたり体験することで、自分が暮らしている町にこういう仕事をしている工場があることを知ってもらえればうれしそうです」と笑みを浮かべました。



- 小6男子3□
 - ①稲田貴②原彩敏
- 小6女子3□
 - ①青木美暖②石田なつみ
- 中1男子5□
 - ①船木嘉純②佐藤篤弥③水口隼輔
- 中1女子3□
 - ①坂本千奈②谷莉奈③中明結菜
- 中1女子5□
 - ①谷口愛実
- 中2男子5□
 - ①松崎祥之②大澤悟志③菅田一輝
- 中2女子3□
 - ①中原美菜②喜多郁美③一ツ柳杏菜
- 中3女子3□
 - ①菅原優香②藤原朱莉
- 一般の部39歳以下男子5□
 - ①齊藤邦彦②五十川睦③坂田陽祐
- 一般の部39歳以下女子3□
 - ①石田幸子
- 一般の部39歳以下女子5□
 - ①塚田優
- 一般の部40歳以上男子3□
 - ①原武利
- 一般の部40歳以上男子5□
 - ①石黒啓司
- 親子幼児1□
 - ①菊地広美・菊地歩夢②鈴木真奈美・鈴木崇斗③後藤由美恵・後藤琉生
- 親子低学年2□
 - ①佐藤陽・佐藤瑠②石田暁・石田まなみ
- 親子高学年3□
 - ①高井正彦・高井彩菜

■第29回全町フィールドボール大会
(9月7日・町教育委員会主催)

男子の部
優勝 小林奏(中7)

- ・準優勝 傳里功(4西3)
- ・第1位 浜頭一行(5東4)
- ・ドラコン賞 小林奏(中7)
- ・ニアピン賞 田淵勇樹(4西3)
- 女子の部
- ・優勝 室田静子(北1)
- ・準優勝 野喜佐子(3西3)
- ・第1位 今成正子(4東2)
- ・ドラコン賞 室田静子(北1)
- シニアの部
- ・優勝 佐藤忠(開2)
- ・準優勝 山本光夫(北1)
- ・第1位 室田博視(北1)
- ・ドラコン賞 室田博視(北1)
- ・ニアピン賞 室田博視(北1)

■第64回社会を明るくする運動
動標語入選作品

- 中学生の部
- ・ありがとう 君の心に 咲く笑顔
- ・1年 船木 嘉純
- ・ここから 気持ちをこめて あり
- ・1年 高橋 汐夢
- ・がとう 仲間がいるよ すぐそばに
- ・1年 高橋樹里亜
- ・大丈夫 仲間がいるよ すぐそばに
- ・1年 高橋樹里亜
- ・あいさつで 笑顔の大輪 花開く
- ・1年 宮崎 歩
- ・思い切り あなたが笑えば みんな
- ・1年 佐藤 陽南
- ・も笑顔 笑顔で
- ・1年 開田 恵伍
- ・まもうろうよ みんなが笑顔で
- ・2年 開田 恵伍
- ・広げよう 笑顔いっぱい 思いやり
- ・2年 佐藤 真綾
- ・支え合い 一番大事な 宝物
- ・2年 溝端 晶
- ・あいさつは みんなの心の エネル
- ・2年 大久保銀河
- ・ギ

- ・あいさつは 私とあなたの 愛言葉
- ・2年 佐藤 凌
- ・笑い合い 共に過ごす日 大切に
- ・3年 竹原 千春
- ・ありがとう 勇気をだして 言ってみる
- ・3年 米田 渉真
- ・笑顔とは みんなの幸せ 運ぶもの
- ・3年 兼光 唯菜
- ・やめようよ 笑顔なくす その言葉
- ・3年 相川はんな
- ・手を取り合い 笑い合えば つながる心
- ・3年 畑山 寛英
- 小学生の部
- ・あいさつは 心と体の えいようだ
- ・当小4年 糸田 歩香
- ・やさしさで 世界に笑顔を 作って
- ・当小4年 樋口 遼人
- ・く えがおはね 心をかえる まほうだ
- ・当小4年 今野 愛菜
- ・よ たすけ合い みんなのびのび 成長
- ・当小4年 新鞍 洸太
- ・大丈夫! みんながいるよ 一人
- ・当小5年 藤野 静蓮
- ・じゃない 手をつなごう 君の手ぼくの 手
- ・当小5年 吉田 翔大
- ・んなの手 いじめなんか 協力しあって
- ・当小5年 平井 京輔
- ・とばせ ああ気持ちいい 大きな声の あい
- ・当小5年 大橋 紗矢
- ・あいさつは 心をひらく 夢のかぎ
- ・当小6年 中富 俊輔
- ・友情と 笑顔で張ろう 仲間の根
- ・当小6年 水口 賢稀
- ・自信もち だめだよ!その一言で
- ・守ろう友達を
- ・当小6年 對馬恵里菜
- ・いじめから 仲間を救う 勇気だそ
- ・当小6年 今野 健太

冠一道の栄冠
ゲートボール
知事杯優勝

北海道知事杯第30回北海道ゲートボール大会が8月23日から2日間、小樽市朝里川公園で開催。「当麻クラブ」が持ち前のチームワークを発揮し、同大会シニア男子の部で町初となる優勝に輝きました。

メンバーは、主将の盛田紀隆さん(73)、北風清太郎さん(87)、浅見俊平さん(82)、杉山巖さん(81)、川口功(78)さんの5人。雨の日を除き毎日4時間の練習で、技術だけでなくチームワークを磨いてきました。

盛田さんは「立派な屋外ゲートボール場で毎日、冬には体育館で練習できる恵まれた環境があるからこそ。町の支援に心から感謝しています」と感謝の気持ちを述べました。

宮城県で平成27年6月に開かれる全国大会「笹川良一杯」北海道代表として出場権を得た当麻クラブのメンバーは、これまでと変わらぬ日々の練習にはげみます。

「当麻クラブ」
抜群のチームワーク





当麻町火災予防作文コンクール表彰式



消防署を見学して

当麻小学校四年 松 谷 愛 音

これから見学したことを報告します。
1 共通課題

私は火事が起きた時と火事が起きてない時に消防署ではどのような仕事をしているのかを調べました。

2 火事が起きた時
(1)消防車について

火事が起きた時、北星、開明、伊香牛、宇園別、緑郷から消防車が来るそうです。全部合わせて九台だそうです。当麻の消防署には三台あって、一つ目はポンプ車、二つ目はタンク車、三つ目は水槽車だそうです。

(2)出動のしかた

火事が起きたときに出動するまでの時間は約三、四分かかるそうです。それまで、防火衣を着て、荷物をもって、ポンベを背負って出動するそうです。ポンベは背負うと10キロなのでそれを背負いながら動いたりするのはすごく大変だそうです。

3 火事がない時

(1)はたらく人の人数について
署長さん一人と他十六人で働いているそうです。警防係と団事務係と救急係と機械係と予防係と庶務係に分担されているそうです。

(2)はたらく時間について
消防署は二十四時間交代ではたらくているそうです。寝る部屋があつてそこで五人寝られるようになっています。夜ごはんは当番がきまつていて当番の人がお弁当を買いに行くそうです。二

十四時間勤務したら次の日休みで、また二十四時間勤務したら次の日休みという順番だそうです。

4 発見したことや体験したこと

消防署で消防車を見せてくれました。消防車の後ろや横に道具がたくさんありました。スプレッター、カッター、ポンベやロープなどいろいろありました。スプレッターは車の中にいる人がドアを開けられなくなったら、スプレッターでドアをこわして開ける役割をするそうです。ポンベは呼吸がうまくできない人における役割をするそうです。ロープは車をもち上げるくらい頑丈です。ロープは絡まないようにきちんとぐるぐる巻いていました。長さが色が分かれていました。人の命を守るためにもたくさんくふうされていてびっくりしました。

5 まとめ

消防署では火を消す他にも事務をしていることが分かりました。人の命を守るためにもたくさんくふうしていました。今回、消防署見学に行つて、消防署の人はかっこいいなあと思いました。私も火のしまつはちゃんとやらなきゃだめだなと消防署見学に行ったことでさらに思いました。

火事のおそろしさ

それを防ぐために

当麻小学校五年 谷 口 聖 実

「ウーウーウー」

私が習いごとをやっているときに外から消防車のサイレンがきこえてきました。「どうしたんだろう」と気になって外を見

平成26年度「第29回当麻町火災予防作文コンクール結果」

■当麻町賞(最高賞の町長受賞作文は全文をご紹介します)

- ・4年生 松谷愛音(当小)「消防署を見学して」
- ・5年生 谷口聖実(当小)
「火事のおそろしさとそれを防ぐために」
- ・6年生 森澤花梨(宇小)「火事のおそろしさ」

■当麻町教育長賞 新鞍洗太(宇小4年)・坂本つづみ(宇小5年)・坂本夢(当小6年)

■当麻消防団長賞 野崎潤也(当小4年)・羽根有哉(当小5年)・岡本紗彩(当小6年)

■当麻町危険物安全協会長賞 本間湊(当小4年)・大橋紗矢(宇小5年)・山村汐里(当小6年)

■佳作

- 小学校4年の部 清水妃依・新野ひなた・菊地七星・舟山秀治・樋口遼人
- 小学校5年の部 直井然・大平雅人・開口晃希・井上拓己・宮崎りみ・菅原大瑚
- 小学校6年の部 小笠原颯・宮嶋凌久・紅露彩菜・小野瑤介・山下孔明・今野健太

てみると、空に黒いけむりがたくさんモクモクと広がっていました。それは火事でした。それを見ていた私は、「火事ってこんなに黒いけむりがたくさん出るんだ。もし建物の中に人がいたらどうなってしまふんだらう」と思いとても恐ろしくなりました。

四年生のときの避難訓練では実際にスモークを使って、そこを通過して避難するという体験をしました。そのときは前が全然見えなくて避難しづらかったから私がああ火事の中にいたら、慌てているうちに煙で前が見えなくなって逃げ遅れていたかもしれない。そう思うとやっぱり火事って恐ろしいものなんだなと思いました。

そんな恐ろしい火事は、どんなことが原因で起こるのでしょうか。それは、放火やコンロの火の消し忘れ、タバコのポイ捨て、たき火、火遊びなどです。

このように、改めて考えてみると、火事の原因のほとんどが人が起こしているということに気がつきました。このような火事を起こさないようにするためには、タバコのポイ捨てはしない、たき火やコンロの火の消し忘れには注意することが大切です。

次に私たちが火事を防ぐためにできることを考えてみました。それは火遊びは絶対にしないことや、花火は大人と一緒に水が入っているバケツを用意してやる、コンロに火がついているときはその場から離れないようにする事などです。

火事が起きる原因で一番多いのは放火です。放火が火事の原因で一番多いなんて私は信じられません。それは火を消す

ために日頃から頑張っている消防士さん達のことを全く考えていないからです。消防士さん達は通報があるとすぐに準備をして消火にあたり、燃えている建物の中に取り残された人がいる場合は火が消えるまで消し続け、その人の命を守ろうとしています。そんなふうについていなくても出来るのは日頃から訓練をしたり街の中にある消火栓などを使うか点検してくれているからです。消防士さんは火事に備えているので私たちにも火事にならないために出来ることを考えて、火事の発生件数を少しでも減らしていきたいです。

火事のおそろしさ

宇園別小学校六年 森 澤 花 梨

火事は、生き物の命をうばう。人や動物、植物の命は取り戻せない。

火事は、ちょっとした不注意や火遊び、寝タバコなどで起きる。でも、どれもこれも人間が注意したら起こらずにすむ話だ。たとえば料理する時に火から離れない。もしくは、消したかを確認してから火から離れるなどとすればいい。

火遊びは火の元になるものを子供の手の届かない場所におけば、子供は火遊びができない。

寝タバコについては、タバコを吸うときは場所を決めて吸っていいのか、吸っちゃだめなのかを考えればいいことだ。

ここまでではあくまで、人の不注意。しかし、この世の中にはわざと火事をしやろうと思うような人間がするのが放火だ。ごみ箱や家に放火する人がいる。放火を無くすには、注意をすることや燃

やされそうなものを置かない努力をすることしか無いのかもしれない。放火されないためには、ごみ箱を物で囲むなどをする放火防止になると思う。夜などに不審な行動をしている人を見かけたら警察に通報をするなどでも放火事件が少しでもなくなると思う。

他にも火事の原因には、だれも予想していないことがあったりする。それは、コンセントにプラグをさしたままにしておくとそこにたまたまあったホコリに使うときに出る火花でホコリが燃え、火事になる事がある。これを防ぐには、使い終わったらプラグを抜くことや、ホコリがたまりやすい所はよく掃除することで防げよう。

私はまだ火事を経験したことはないけど、ニュースを見たりすると、火事はおそろしいなと思う。これからは、火事をおこらないために注意深く行動すると、放火されないようにごみをあまり外に出さないようにしようと思った。そしてコンセントの近くはよく掃除をし、使い終わったら抜くということをしようと思った。



表彰式で笑顔をみせる受賞者のみなさん

町長行政報告

9 / 11 第3回定例町議会

■公民館「まとまーる」の林野庁長官賞表彰の受賞について
公民館「まとまーる」は、木材利用推進中央協議会が主催する、平成26年度木材利用優良施設コンクールにおいて、農林水産大臣賞に次ぐ林野庁長官賞を受賞いたしました。

全国、107点の応募施設の中において、町内で生産された木材を構造材や内装材に積極的に使用したこと、また、民間家具メーカーとの協働による施設内の木製家具にも町産材を活用したことなどが高く評価されたものであります。

去る7月30日、東京新木場の木材会館において共に受賞した設計事業者並びに施工事業者と林野庁長官から賞状を授与していただいたところです。12日には、この「まとまーる」において、当麻町森林組合の製材加工機械完成と併せて、林野庁長官賞受賞の合同祝賀会を執り行う予定であります。

■当麻消防庁舎改築工事について

当麻消防庁舎改築工事につきましては、構造は鉄筋コンクリート造の2階建、延床面積998.53平方メートルで、去る7月31日に入札を執行し、平成27年3月20日を工期としまして現在基礎工事を進めております。

■農作物の生育状況及び出荷状況について

水稻につきましては、上川農業改良普及センターの調査によりますと、6月上旬の連続した高温により、除草剤の被害が一部見られましたが、7月下旬まで、平年を上回る気温の日が多く順調に生育し、結果的には4日ほど早く進んだ状況であります。

7月下旬から8月上旬には豪雨に見舞われましたが、倒伏などは少なく、心配された「いもち病」も適切な防除により、最小限の被害に抑えることができ、現在の登熟状況は良好であります。

また、北海道農政事務所が8月30日に公表した北海道並びに上川管内の作柄概況においては、「良」と見込まれております。

J Aカントリーエレベーターの受け入れは9月5日から始まり、今後、稲刈り作業が事故なく順調に進み、少しでも多くの収量を確保できることを期待するところであります。

でんすけすいかにつきましては、春先の好天に恵まれ、昨年より一週間ほど早い6月9日より出荷が始まり、その後も盆地特有の昼夜の寒暖差のある気候により順調に出荷されました。

本年は、局地的な大雨や極端な高温・低温の影響で、一部、品質の低下が見受けられましたが、最終的には昨年より600ケース多い、6万3千400ケースほどの出荷となっております。

販売額では、例年価格が下がる8月上旬も品薄感から価格が維持され、昨年を1千万円上回る1億7千200万円ほどとなりました。なお、受入は8月13日をもって終了したところであります。

■平成26年度町内建設工事の進捗状況について

町建設水道課発注に係る平成25年度予算の繰越実施分を含めた平成26年度の発注率は約67%、発注工事の進捗率は約59%になっております。

町長への手紙

質問

QUESTION&ANSWER

町長への手紙と、それに対する町長からの返答を掲載します。

平成26年度の第29回全町フィールドボール大会(9月7日、日曜日)に参加。折から好天に恵まれプレーを楽しみましたが、最近、気になっておられることは年ごとに参加者の人数が減少していること。加えて、プレーヤーの年齢が高齢化して若者の参加は絶無と言って良いことです。(町職員が数名参加しましたが)

この状況を今一度真剣に考えなければと思うのです。一つの方法は町教育委員会主導による小、中学の生徒の(体育充実を図る)定規的なゲーム、若者を主体として正しいルールの指導(まあまあいいやでは駄目)と優れた技術の指導(ゴルフのピッチングウエッジのみのスイング)等を優れた技術を持つている愛好会員の腹をくつた対策が必要かと思えます。きれいな芝生とこのフィールド場の変化に富んだコースは近隣にないものです。また来期には隣接するガーデンを開園するとあれば、すばらしい環境だと思います。ここを生かさぬ手はありません。またフィールドボールを楽しんだ家族や入場者に心温まる記念品でも配り、PRに心がけることも一策かと思えます。なにはともあれ、この恵まれた施設と環境を生かさぬ手はありません。町の良き発展のためにも...

フィールドボールのご利用大変ありがとうございます。

フィールドボールは、昭和61年にゴルフのピッチングウエッジと硬式テニスボールを使い打数の少なさを競う当麻町発祥の軽スポーツとして普及し、現在、当麻町のほか、愛別町にもフィールドボール場があり、町内外の方が利用されております。

しかしながら、パークゴルフ、ゲートボールなど道内発祥の軽スポーツが手軽さや競技性から全国に普及しており、フィールドボール愛好者の方も、幅広い年代ができるパークゴルフへ移行するのが多く見受けられるのが現状となっております。

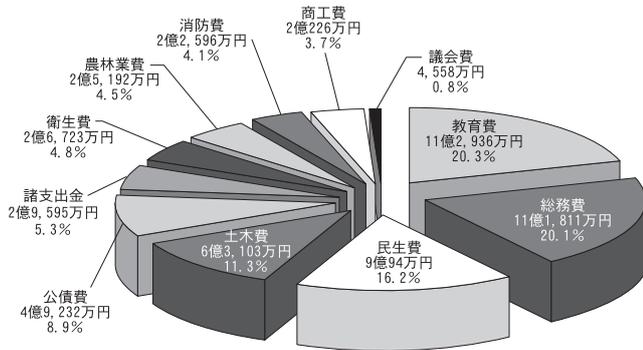
今後、教育委員会で行っているチャレンジ教室のメニューの中にもフィールドボールを取り入れ、小学生から一般の方までを対象にした教室や、愛好会に協力をいただきルール・技術指導の講習会などを開催し、普及・充実を目指してまいります。

また、今よりさらに手軽に打つことができる用具などで、子どもから高齢者の方が楽しくプレイできる環境整備に努めてまいります。貴重なご意見に感謝申し上げます。

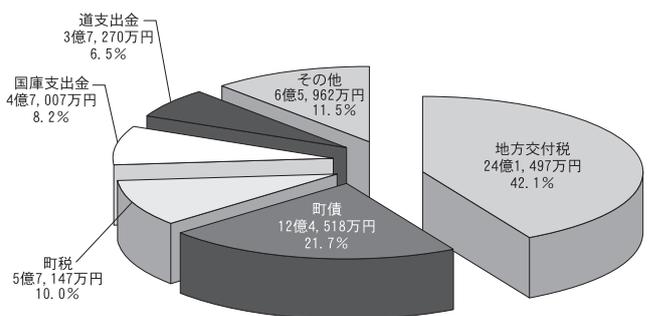
平成25年度決算「わがまちの家計簿」

決算は1年間のまちづくりの記録であり、いわば『まちの家計簿』と言えるものです。町民のみなさんから納めていただいている町税や、国や道から交付されたお金がどのように使われているのかについて、決算の状況をお知らせします。また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、当町における健全化判断比率・資金不足比率をあわせてお知らせします。

歳出総額 55億6,066万円



歳入総額 57億3,401万円



■一般会計決算額の概要 町の会計の中心で、私たちの生活に最も関わり合いの深いのが一般会計です。平成25年度一般会計では、歳入が57億3,401万円、歳出が55億6,066万円となりました。その差引額約1億7,335万円から、8,000万円を地方自治法233条の2の規定に基づき、基金に積み立て、残り約9,335万円を翌年度に繰り越しています。

会計名	歳入	歳出
国民健康保険(事業勘定)	10億 566万円	9億7,396万円
国民健康保険(医科診療施設勘定)	1億1,550万円	1億1,516万円
後期高齢者医療	1億 364万円	1億 349万円
介護保険	8億7,524万円	8億6,967万円
公共下水道事業	1億4,604万円	1億4,598万円

■健全化判断比率

項目	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
当麻町の比率	—	—	6.9%	3.5%
早期健全化基準	15%	20%	25%	350%

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、それぞれ赤字額がありません。

■資金不足比率

会計名	当麻町の比率	経営健全化基準
公共下水道事業特別会計	—	20%
水道事業会計	—	20%

※各会計について、それぞれ資金不足額がありません。

- 実質赤字比率 一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。
- 連結実質赤字比率 全ての会計における収支額を合算して、赤字の程度を指標化し、まち全体としての運営の深刻度を示すものです。
- 実質公債費比率 借金の返済額やこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。
- 将来負担比率 借金の返済額や将来支払っていく負担額等を、現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。
- 資金不足比率 公営企業の資金不足を、公営企業ごとの事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。
- 早期健全化基準・経営健全化基準を超えてしまうと… 「財政健全化計画」・「経営健全化計画」の策定を国から義務づけられ、計画に沿った財政運営等を行い、財政健全化・経営健全化を図ることとなります。

町職員給与のお知らせ

町職員には、その仕事と責任に応じて給与を支給しています。今月は町民のみなさんに、町人事行政に対する一層のご理解をいただくため、町職員給与の状況をお知らせします。なお、「当麻町人事行政の運営等の状況」については、町ホームページまたは、総務企画課職員係の窓口でご覧になることができます。

■「当麻町人事行政の運営等の状況」の閲覧方法
インターネットの町ホームページ(<http://www.town.tohma.hokkaido.jp/>)から「役場業務案内」へ進み、総務企画課職員係の詳細欄にある「平成26年度当麻町人事行政の運営等の状況」からご覧ください。

●人件費の状況〔一般会計決算〕 (地方財政状況調査より)

区分	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
25年度	5,560,662千円	729,255千円	13.1%

※人件費には一般職の給与のほか、町長や副町長などの常勤特別職に支給される給料、議員などの非常勤特別職の報酬が含まれます。そのほか、共済費や退職手当組合負担金などが含まれます。

●職員給与費の状況〔一般会計予算〕 (一般職)

区分	職員数(A)	給与費				一人当り給与費(B/A)
		給料	期末勤勉手当	職員手当	計(B)	
26年度	人 89	千円 331,100	千円 120,018	千円 59,930	千円 511,048	千円 5,742

※職員数・給与費は、当初予算に計上された一般職にかかわるもので退職手当組合負担金は含まれていません。

●特別職の報酬等の状況(平成26年4月1日)

区分	給料(報酬)月額	期末手当の支給割合	
町長	710,000円	6月	1.90月分
副町長	565,000円	12月	2.05月分
教育長	535,000円		
		計	3.95月分
		職制上の加算措置 有	
議長	237,000円	6月	1.90月分
副議長	184,000円	12月	2.05月分
常任委員長	169,000円		
議会運営委員長	169,000円		
議員	160,000円	計	3.95月分
		職制上の加算措置 有	

●部門別職員数の状況(各年度4月1日現在) 単位=人

区分	職員数	職員数	
		平成25年度	平成26年度
一般行政部門		68	69
特別行政部門(教育)		17	18
公営企業等			
水道	4	4	
下水道	1	1	
その他(国保・介護事業)	14	14	
小計	19	19	
合計	104	106	

教育長を含む。

●職員の平均給料月額および平均年齢の状況(平成26年4月1日)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	309,414円	41.5歳

(給与実態調査より)

●職員の初任給の状況(平成26年4月1日)

区分	当麻町		国	
	初任給	初任給	初任給	初任給
一般行政職	大卒	172,200円	172,200円	
	高卒	140,100円	140,100円	

●職員手当の状況(平成26年4月1日)

手当名	当麻町の内容	国の内容	手当名	当麻町の内容	国の内容
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者 13,000円 扶養親族(配偶者を除く) 1人 6,500円 (11,000円の場合有) 満16歳から満22歳までの子 1人 5,000円加算 	同じ	期末手当	(支給割合)	同じ
				<ul style="list-style-type: none"> 6月 1.225月分 12月 1.375月分 計 2.60月分 	
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> 自宅の場合 町内の住宅に居住している場合に限り年数にかかわらず7,000円 借家等の場合(家賃12,000円を超える者に限る) 家賃の額に応じて21,500円を限度に支給 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅の場合は支給なし 借家等の場合は27,000円を限度に支給 	退職手当	(支給率)	同じ
				<ul style="list-style-type: none"> 自己都合 21.62月分 勤続20年 27.025月分 勤続25年 30.82月分 勤続35年 43.7月分 最高限度額 52.44月分 	
通勤手当	通勤距離2km以上の場合 2,000円/月	運賃等相当額を支給	時間外勤務手当	正規の時間を超過して勤務することを命じられた職員に支給	
			寒冷地手当	職員の世帯の区分や扶養親族の有無に応じて支給	

◎町職員給与に関するお問い合わせは、総務企画課職員係(☎84-2111内線215)まで

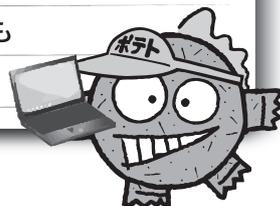
当麻町民のための

パソコン講座

パソコンの基本から便利な使い方をみなさんにお伝えします。実践して学びたい！という方は、当麻町でも毎月開催している「ポテト無料パソコン講座」にもぜひご参加ください。

第17回〈番外編〉町内放送の機器について

落雷・停電があった後は、町内放送の機器が起動しなくなったり、町内無料電話がかけられないといったお問い合わせをお受けします。多くの場合は、コンセントの抜き差しで復旧しますので、以下の作業を行ってください。それでも復旧しない場合は、機器に異常な電圧がかかり故障している場合もありますので、旭川ケーブルテレビ「ポテト」までお早めにお電話をお願い致します。



電源ランプ 状態ランプ《WAN/告知/IP電話》

を確認してください。
これらのランプが緑で点灯していれば正常です。

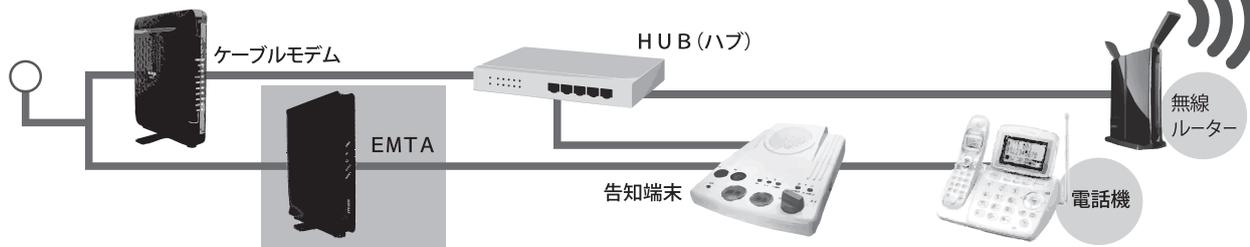
電源ランプ 状態ランプ《WAN/告知/IP電話》

が点灯していない・点滅を繰り返す

電源コンセントの抜き差しで復旧します。
※抜き差し後、使用可能になるまで数分かかります。

↓
数分待っても点灯にならない場合は、
各端子が正しく接続されているか確認した上で
ポテトにご連絡ください。

〈ポテトインターネット、ケーブルプラス電話がある場合の接続例です〉



インターネット環境導入については、旭川ケーブルテレビ「ポテト」にご相談ください！

総務省では多額の国費補助で整備された情報通信基盤施設の有効活用を事業実施自治体へ指導するとともに、インターネットサービスの一層の利用率向上を目指しています。当麻町では、パートナー電気通信事業者である、旭川ケーブルテレビ「ポテト」と連携し、取り組みを進めています。



町立図書館からのお知らせ

移動図書館車「いちい号」巡回予定

宇園別 小学校	10月15日(水) 11月5日(水)	12:50~13:10	当麻 小学校	10月16日(木) 11月6日(木)	12:50~13:20	柏寿園 町営住宅横	14:00~14:15(10月16日) 13:30~13:45(11月6日)
------------	-----------------------	-------------	-----------	-----------------------	-------------	--------------	---

図書館フェスティバルのご案内

○開催日：平成26年11月3日(月) ○場所：当麻町立図書館

11月3日の「当麻町生涯学習フェスティバル2014」に合わせ、「図書館フェスティバル」を開催しますので、みなさんぜひお立ち寄りください。なお、当日も図書の貸し出しを行っています。

○驚異のトリックアート展

不思議な世界が広がるトリックアート。思い込みか錯覚か、自分の目で見て楽しんでください。

○「日本ハムファイターズ」読書展示会

日本ハムファイターズ読書促進全道キャンペーン「読書応援企画展」の一環として、ファイターズの選手たちの愛読書を選手の写真等と共に紹介します。

○読み聞かせ会

「当麻町おはなしネットワーク」がお送りする、年に一度、図書館の中で開催する絵本などの楽しい読み聞かせです。

○ジャズ演奏会

当麻を中心に活躍する「名もなきジャズバンド」による演奏が、図書館に大人のムードを届けます。

古本市、子育て支援図書贈呈事業PR展示、しかけ絵本&昔遊びコーナー、雑誌の付録釣りなどの毎年恒例の催しも行います。
今年も、みなさんのご来館をお待ちしています。

※昨年度の展示



ピックアップ!今月の3冊
ライツ・オン!
土橋章宏



時は明治2年、ところは長崎・伊王島。傲慢な英国人技術者、孤独な日英ハーフの通訳、日本の天才発明家らが貧しい漁村に光を届けるため、洋式灯台の建設に取りかかる。だが、あまりに障害の多いプロジェクトの行方はいずこへ?

侵入者
折原一



未解決の一家強殺事件。迷宮入りかさやかれる中、遺族から事件の調査を依頼された“自称小説家”である主人公は「真相」を暴くため脚本を書き始める。会場は事件現場、出演は遺族。そして前代未聞の再現劇の幕が上がる。

男のガレージ&工房 2014



ビザ寮完備のエンタメガレージ、アメリカンスタイルなビルトインガレージ、演奏家がセルフビルドしたバイオリン工房などなど、様々なアイデアやテクニックが詰まった男の趣味空間の実例を紹介。

新刊児童図書

- アンパンマンのこもりうた やなせたかし
- 思い出のマーニー ロビンソン
- おんなのしろいあし 岩井志麻子
- さばくのくいしんぼ 佐々木マキ
- すすめ! きゅうじょたい 竹下文字
- 世界の妖怪大百科
- チュウせんせいはいしやさん いもようこ
- どんぐりむらのほんやさん なかやみわ
- ユキコちゃんのしかえし 星新一
- ようかいガマの おエドでうちゅうじん よしながこうたく

■当麻町立図書館(☎84-2566) ■休館日 毎週月曜日/年末年始/祝祭日(11/3除く)/特別整理期間
■開館時間 9時30分~17時15分(木曜日は11時~19時) ■ホームページ <http://db.net-bibai.co.jp/tohma/>



■問い合わせ先
子育て支援センター「たち」(子育て総合センター内・
☎84-5440)

※ご来園の際は、スポーツセンターまたはテニスコート横の駐車場をご利用ください。

からのお知らせ

○「わくわく教室」 午前9時30分から11時30分まで

開催日	内容
10月15日(水)	親子の運動教室 第3弾 「運動神経を発達させる コーディネーション体操」
10月22日(水)	生涯学習フェスティバル作品作り (汚れても良い服装でお越しください)
10月29日(水)	わらべうたあそび
11月5日(水)	晴天時/図書館へ行こう 荒天時/楽器あそび
11月12日(水)	晴天時/しゃぼん玉 荒天時/色付きしゃぼん玉

○「よちよち教室」(1歳児対象) 午前9時30分から11時30分まで

開催日	内容
10月10日(金)	親子の運動教室 第2弾 「親子でつくる柔軟性」
11月14日(金)	アンパンマンヨーヨーを作ろう

○「ましゅまる教室」(0歳児対象)

午前10時から11時30分まで

開催日	10月17日(金)	11月7日(金)
-----	-----------	----------

○「あそびの広場」(プレイルームの開放)

午前10時から11時30分まで

開催日	10月20日(月)	10月27日(月)	11月10日(月)
-----	-----------	-----------	-----------

○特別行事のお知らせ

開催日	内容
11月17日(月) 9時30分～ 11時30分	<p>子育て講座</p> <p>場所 改善センター大広間</p> <p>内容 「食欲の秋! 秋の野菜と果物deケーキ サレ(塩味のお惣菜ケーキ)&グリーンスムージー作り」</p> <p>講師 ジュニア野菜ソムリエ 梅田 樹里氏</p> <p>参加費 1家庭600円</p> <p>持ち物 エプロン、三角巾、お手拭き、筆記用具</p> <p>締切 11月7日(金)</p>

○絵本・DVDの貸し出し

開館日であればいつでも利用できます。午前9時から午後5時まで。貸し出し期間は2週間までです。

・絵本～1回5冊まで ・DVD～1回2枚まで

○子育て相談

開館日であればいつでも相談に応じます。午前9時から午後5時まで。

・来所相談 事前に電話をお願いします。
・電話相談 ☎84-5440へお電話ください。

9月4日「上川中部北4町だれもが暮らしやすい地域づくり協議会」(略称:北4町地域づくり協議会)を開催しました。

この協議会は、障害者総合支援法に基づいて、当麻、比布、愛別、上川町の障がい者等への支援体制を整備するため、関係機関が集まって地域の実情に応じて協議をするものです。

各町の協議会の代表者などが参加して、障がいのある方もない方も誰もが暮らしやすい地域にしていくための方針や、当センターの活動の進め方について協議しました。また、障がい者等の虐待防止ネットワークの機能も持たせているため、旭川東・中央警察署、上川保健所やかみかわ相談支援センターなど4町を所管する関係機関や、住民に身近な各町の社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会などからも集まっていたいただきました。

初めての開催のため、具体的な協議はこれから積み上げていくこととなりますが、形式的な会議ではなく「誰もが笑顔で



■上川中部基幹相談支援センター
(当麻町役場庁舎内・☎84-7111 FAX84-7333)
■虐待防止センター専用電話
84-7222(24時間対応)

「きたよん」スローガン

くらあまえあおい
比べないのは当たり前、みんなで上ろう愛の地域(ぶたい)

暮らせる地域」をつくる核となるよう、関係者の方々と協力していきます。今後、住民の方々からもご意見やご協力をいただきたく仕組みを作っていく予定です。

協議会に引き続いて開催した「みんなが暮らしやすい地域づくり研修会」では、北海道の障がい者

保健福祉課の谷口主査と教育大学旭川校の安達教授にご講演いただきました。谷口主査からは北海道障がい者条例や虐待防止法、これから施行される差別解消法についての説明、安達教授からは、障がいのある方々が安心して暮らすために、社会の側が配慮すべきことについて分かりやすい例を挙げてお話しいただきました。

参加者アンケートでは、法律制度の説明は難しかったとのご意見がありました。今後は、みなさんにより理解を深めていただけるよう分かりやすい研修会を開催していきます。

⑦「北4町協議会・研修会」

水痘(水ぼうそう)予防接種の定期接種化について

10月1日より、水痘(水ぼうそう)ワクチンが定期接種となりました。

■対象者および接種方法 接種時に当麻町に住民票があり、①または②に当てはまる方

①生後12カ月～生後36カ月の子

(1歳の誕生日前日～3歳の誕生日前日)

接種方法：3カ月以上の間隔をおいて2回注射

②(平成26年度のみ)生後36カ月～生後60カ月で過去に一度も接種したことがない子

(3歳の誕生日～5歳の誕生日前日)

接種方法：1回注射

※②の対象となるお子さんの接種期間は平成27年3月31

日までとなっています。これを過ぎると任意接種となり、全額自己負担での接種となります。また、水ぼうそうにかかったことのあるお子さんは対象外となります。

■接種医療機関

当麻町立診療所(☎84-2335)

当麻内科ペインクリニック(☎84-7517)

※予防接種は完全予約制です。

ながやまキッズファミリークリニック(☎49-7770)

ささきこどもクリニック(☎57-0757)

くさのこどもクリニック(☎52-1151)

■接種料金 無料

■問い合わせ先

健康福祉課健康推進係(☎84-2111内線142・143)

健康コラム『げんきの素』 vol.140 今月のテーマ 「本当はこわい、水ぼうそう」

水ぼうそうは、水痘ウイルスの感染によってかかります。約2週間の潜伏期間を経て、かゆみを伴う小さな赤い水ぶくれが全身にあらわれます。水ぶくれがかさぶたになり1～2週間でかさぶたが取れて完治します。



【水ぼうそうの患者数】

毎年100万人以上の方が水ぼうそうにかかります。水ぼうそうは軽症と思われがちですが、年間で重症化して入院する人が約4千人、死亡する人は約20人発生しており、実は注意が必要な病気です。

【感染力の強さ】

水ぼうそうは感染力が強く、周囲のたくさんの方に病気をうつしてしまいます。身体の抵抗力の低い人や生まれてすぐの赤ちゃんは重症化のおそれが高く、特に注意が必要な病気です。



【胎児への影響】

水ぼうそうに対する免疫をもたない妊婦さんが妊娠初期に感染すると、おなかの赤ちゃんが「先天性水痘症候群」という病気(四肢の形成不全、低体重、精神発達遅滞など)を持って生まれる可能性があります。



**水ぼうそうは、子どものうちにかかるのが当然と思いませんか？
水ぼうそうは「ワクチンで予防する病気」です。**

予防接種を受けたにも関わらず水ぼうそうにかかってしまった…。という話はよく耳にします。水ぼうそうの予防接種をしても、しばらくしてから20%くらいの割合で発病することがあります。しかし、接種を受けていない人に比べて症状ははるかに軽く、短期間で治ることから重い合併症を防ぐことができます。

1歳以上で水ぼうそうにかかったことのない人は、予防接種を受けましょう！

必ずチェック 最低賃金！ 使用者も 労働者も 厚生労働省北海道労働局労働基準監督署(支署)

北海道内で事業を営む使用者およびその事業場で働く全ての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイトなどを含む)に適用される北海道最低賃金(地域別)が右のとおり改定されました。

北海道最低賃金

時間額 **748円**

効力発生年月日
平成26年10月8日

○最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、および時間外等割増賃金は算入されません。

○最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。

○特定の産業(「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」)で働く労働者には北海道の産業別最低賃金が適用されます。

健康

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザの流行に備え、インフルエンザ予防接種が10月1日から始まっています。また、町では次のとおり接種金額の一部を助成しています。

対象者	自己負担金・接種場所
1歳～中学生 (接種回数13歳未満2回、13歳以上1回) (住民登録されている方)	無料 ■町内医療機関で接種できます ※旭川市内の医療機関で接種した場合は、各医療機関で定めた額を支払い、後日、健康福祉課で申請により自己負担分を返金します(上限2,000円) (領収書、接種済証、印鑑持参)
65歳以上(※1) (接種回数1回) (住民登録されている方)	1,080円(生活保護受給者は無料) ■町内医療機関と旭川市内の医療機関(一部不可)で接種できます ※65歳以上の方で1,080円を超える金額を窓口で負担された方は健康福祉課にお問い合わせください
■接種期限 平成27年1月31日まで	
■接種時に持参するもの 健康保険証、運転免許証、母子健康手帳等本人の確認ができるもの(生活保護受給者は証明書持参)	
(※1)60歳から64歳で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、1級の身体障害者手帳を有する方、または、同程度の障がいを有する方	

■問い合わせ先

健康福祉課健康推進係(☎84-2111内線142・143)

元気な歯のコンクールを開催します

歯をはじめとする口の中の健康の保持・増進は、高齢者を豊かで楽しい人生を送るための基礎となるものです。

また、自分の歯でおいしく食事を食べるということは食事や会話を楽しむことにもつながります。

自分の歯が少なくても20本以上保たれていれば、ほとんどの食品を食べるのに支障がないとの調査結果をふまえ、町では60歳で24本、70歳で22本、75歳以降で20本の歯の保持を目指して元気な歯のコンクールを開催します。次に該当される方はぜひ、ご応募ください。

■共通条件 当麻町に居住し後日、診査に来られる方

6024 コンクール	満60歳(昭和28年10月22日～昭和29年10月20日生まれ)で、自分の歯が24本以上ある方
7022 コンクール	満70歳(昭和18年10月22日～昭和19年10月20日生まれ)で、自分の歯が22本以上ある方
7520 コンクール	満75歳(昭和13年10月22日～昭和14年10月20日生まれ)で、自分の歯が20本以上ある方
8020 コンクール	満80歳(昭和8年10月22日～昭和9年10月20日生まれ)で自分の歯が20本以上ある方

※該当年齢時、何らかの事情で応募できなかった方でも2年以内であれば応募対象となります。応募者には10月20日(月)、歯科相談および歯の確認診査を行い、生涯学習フェスティバル(11月3日)で表彰となります。

■募集期間 10月10日(金)～17日(金)

■応募・問い合わせ先

健康福祉課健康推進係(☎84-2111内線142・143)

肺炎球菌ワクチン予防接種費用の助成について

10月1日より、肺炎球菌ワクチンが任意接種から定期接種(B類疾病)となりました。そのため、町の接種料金助成が以下のとおり変更となります。

定期接種

定期接種の対象となる方には、あらかじめご案内と予約票を送付しています。

■対象者 住民基本台帳に記載されており、過去に一度も高齢者肺炎球菌ワクチン接種を受けたことがなく、次のいずれかに該当する方。

・平成26年4月1日から平成27年3月31日の間に65・70・75・80・85・90・95・100歳および101歳以上になる方

・60歳から64歳までの方で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、1級の身体障害者手帳を有する方

■接種期間 平成26年10月1日～平成27年3月31日

■接種医療機関および料金

町立診療所(☎84-2335)要予約	2,530円
当麻内科ペインクリニック(☎84-7517)要予約	
旭川市内医療機関(一部不可)	2,700円

・生活保護受給者は無料(健康福祉課に申出ください)

任意接種

任意接種対象の方には個別にご案内をしておりません。対象となり接種を希望される場合は、医療機関で接種してください。

■対象者 住民基本台帳に記載されており65歳以上で定期接種の対象外の方

■接種期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

■接種医療機関および料金

町立診療所 要予約	2,530円
当麻内科ペインクリニック 要予約	

・生活保護受給者は無料(健康福祉課に申出ください)

※町外の医療機関で接種した場合、各医療機関で定めた額を支払っていただき、後日、自己負担分を返金します(上限4,860円)。領収書、接種済証、印鑑を持参のうえ、健康福祉課窓口で手続きをしてください。

■問い合わせ先

健康福祉課健康推進係(☎84-2111内線142・143)

農業

もちつき利用の登録申し込みについて

毎年、年末時期には地場産品加工研究センターでのもちつき利用申し込みが大変多く、希望どおりの日程で利用することは難しい状況です。そのため、本年度も事前に登録した各グループの代表者による抽選を行い、利用日を決定します。

- 利用期間 12月1日(月)～30日(火) 午後1時～5時
- グループ加入者資格 町内在住者
- グループ構成人数 5人以上
- 登録申込方法 申込用紙に記入のうえ10月31日(金)までに農業合同事務所(JA当麻2階)農林課農政係へ提出してください(申込用紙は農林課窓口にあります)。
- 利用日決定方法 登録グループの代表者の方による抽選で決定します(代表者が出席できない場合は必ず代理の方を出席させてください)。
- 抽選日時 11月14日(金) 午後1時30分から
- 抽選場所 JA当麻3階大ホール
- 注意事項
 - ・もち米は1グループ60kgまでしか加工できません
 - ・今回はもちつき以外の加工はできません
 - ・ほかのグループと重複して登録することはできません
 - ・申し込み多数の場合は利用できない場合もあります
- 問い合わせ先 農業合同事務所(JA当麻2階)農林課農政係(☎84-2123)

電気牧柵・堆肥場・もみ貯蔵タンクの補助

町では、山間部における田畑をエゾシカ被害等から対処するための電気牧柵等設置、農産物の生産性と品質の向上・地力増進のための堆肥場設置、もみ殻をバイオマス資源として活用し、煙を出さない環境を推進するため

に導入するもみ殻貯蔵タンクの設置に対し補助を行っています。平成27年度中に設置をお考えの方は、11月7日(金)までにお問い合わせください。なお、対象は町内の農業者で、予算の範囲内で補助をします。

- 電気牧柵等設置
 - ・補助額 事業費の3分の1以内(千円未満切捨)
 - ・対象設備 電気牧柵、バラ線牧柵、発光式防除機または音響式防除機(音響式防除機は爆音機を除く)
- 堆肥場設置
 - ・補助額 3.3㎡(1坪)当たり2,000円以内
 - ・対象基準 33㎡(10坪)以上、330㎡(100坪)以下とし、堆肥場の4辺の内、2辺以上に60cm以上の擁壁を設置。また、堆肥場内の汚水の用排水等への流入防止を行う
- もみ殻貯蔵タンク設置
 - ・補助額 事業費の4分の1以内(千円未満切捨)、ただし上限額は30万円
 - ・対象基準 1経営体につき1台の導入を補助対象とし、送風機・ダクト等の付帯設備設置は補助対象としない
- 問い合わせ先 農業合同事務所(JA当麻2階)農林課農政係(☎84-2123)

相談

成年後見制度無料相談会のお知らせ

旭川成年後見支援センターでは、高齢者や障がいのある方の「生活」や「財産」に関する不安や困りごとなど、本人のさまざまな権利が守られ、安心して地域で暮らしていけるよう「成年後見制度」について、無料で相談会を実施します。

- 日時 11月7日(金)午後2時～4時
- 場所 役場2階和室
- 問い合わせ先 健康福祉課福祉係(☎84-2111内線132・133・134)

文壇

短歌や俳句川柳を習ったばかりの方でも、ぜひご登壇ください。

虫すだく 夕べの庭は 恋の庭 林 明子

朝の空 鳥一列に うろこ雲 佐藤 栄子

盆太鼓 夜雨に遠く しめりがち 岩 潤 真理子

夏の香の 残る風鈴 仕舞いけり 佐藤 忠

川柳

農魂の汗が爽りの秋を生む 大野 直之

咲き競う 花の色香に 榎本 千ヨ

歎ひげば芋が顔だしこんには 櫻井 清和

Uターン戻したくないあの時代 林 義明

しんがつき みんなにあうの ひさしぶり 谷口 雅実(小学1年)

とうま山 てっぺんのぼれば いい気分 山下 優月(小学2年)

あきだから かれきばかり あるんだね 中島 依吹(小学2年)

二がつきは むずかしくなる がんばろう 加藤 海夢(小学2年)

さんかん日 むねがどきどき たいそうた 野崎 莉穂(小学2年)

ランドセル にじいろあれば ハッピーだ 久米田 姫梨(小学2年)

てっぼうで いろんなことに ちようせんだ 植杉 芽衣(小学2年)

くいしんぼ しょくよくの秋 たべまくり 守 風太(小学3年)

あきにはね かれはがサラリ ふつてくる 舟山 真白(小学4年)

Look Look

暮らしの情報定期便

国民年金

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書が送付されます

国民年金保険料について社会保険料控除の適用を受ける場合には、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」の添付が義務づけられています。

平成26年中に国民年金保険料を納付された方には、控除証明書が平成26年11月上旬、または平成27年2月上旬に送付されます。

年末調整や確定申告の際には、控除証明書や領収書が必要となりますので、大切に保管してください。

■11月上旬に控除証明書が送付される方

平成26年1月1日～9月30日に保険料を納付された方

■平成27年2月上旬に控除証明書が送付される方

平成26年10月1日～12月31日に今年初めて保険料を納付された方

■問い合わせ先(11月4日～平成27年3月16日)

控除証明専用ダイヤル(☎0570-058-555)

(I P 電話などからは☎03-6700-1144)

福祉

除雪サービスの申し込みについて

町では、虚弱、心身の障がい、傷病などの理由で除雪をすることが困難な高齢者(おおむね500m以内に除雪を

援助できる子または子の配偶者等が居住している場合は除く)や、障がいがある方の世帯に対して除雪サービスを実施します。

■対象世帯

- ・介護保険要支援・要介護の認定を受けている方のみの世帯または、要支援、要介護認定者と75歳以上の高齢者のみで構成されている世帯
- ・生活援助ヘルパーの派遣、配食サービスを利用されている世帯
- ・重度の身体障がい者と75歳以上の高齢者のみで構成されている世帯
- ・中度の肢体不自由者および内部障がいのある方のみで構成されている世帯

■利用料 作業員1回250円・機械作業1回500円

■申込に必要なもの 印鑑

■申込締切 10月31日(金)

■申込・問い合わせ先

健康福祉課福祉係(☎84-2111内線132・133・134)

火災・救急出動状況(平成26年中) 〈9月中火災出動〉

月合計	0件
累計	2件

〈9月中救急出動〉

急病	17件(17人)
一般負傷	2件(2人)
交通	3件(4人)
その他	6件(6人)
月合計	28件(29人)
累計	217件(199人)

()内は搬送人員

交通事故状況(平成26年累計・9月末現在)

当麻町	発生件数	人身 8件 物損 117件
	死者数	0人
	傷者数	10人
道内での死者数		128人

★全道一斉秋の火災予防運動について★

10月15～31日まで全道一斉秋の火災予防運動が実施されます。現在火災の原因は、放火が1位となっております。放火火災を少しでも防ぐため、次のことに注意してください。

- ・ゴミは決められた日の朝に出す
- ・家の回りに燃える物を置かない
- ・車庫や物置にはしっかり鍵をかける
- ・照明を設置し、暗がりを作らない
- ・ポストに新聞やチラシを溜めない

放火火災に対する危機意識を持ち、安全で住みよい町を目指しましょう。



交通安全・防犯の「絆」メッセージ

地域住民の皆様へ

本年もこれまでの間、皆様と共に交通安全や防犯活動に取り組んできたところですが、旭川東警察署管内では、交通死亡事故については、9月8日現在で6人の方が犠牲となり、昨年1年間の4人を既に上回っております。

また、管内における犯罪発生状況についても、依然としてオレオレ詐欺や、自転車盗等の街頭犯罪が多発しており、治安情勢は大変厳しい状況にあります。

毎年これらの交通事故や犯罪は、年末に向けて増加する傾向であることから、

交通事故防止については、特に

- 運転手は、全席シートベルト着用、前方等をよく見て安全確認とスピードダウン、赤信号や一時停止は確実に止まること
- 歩行者・自転車は、道路横断等では交通法規を守り、夕暮れ、夜間は明るい服装で夜光反射材を身につけること
- 飲酒運転は、「しない・させない・許さない」こと

犯罪防止については、特に

- 電話やメールの話しだけでお金のやり取りは絶対にせず、必ず警察や家族等に相談すること
- 自転車は鍵を2個以上かけること(ツーロック)
- 車はドアロックし、車内に外から見えるところにバック等を置いたままにしないこと
- 物置や車庫は必ず鍵をかけること

以上、皆さん一人ひとりが安全・安心を願う強い意識を持ち、家庭、学校や職場等あらゆる機会を通じて声をかけ合い、交通安全・防犯を実践していくことで、地域の「絆」を深めていきましょう。

平成26年9月8日

上川総合振興局長

旭川市長

東神楽町長

当麻町長

愛別町長

上川町長

東川町長

美瑛町長

旭川方面旭川東警察署長

旭川東地域交通安全活動推進委員協議会会長

旭川東地区交通安全協会連合会会長

旭川東地区安全運転管理者協会会長

旭川東地区防犯協会連合会会長

「交通安全町民集会・演芸の夕べ」が開催されます！

町交通安全協会では、10月17日(金)の午後6時から、公民館ままとまーで「第45回交通安全町民集会・演芸の夕べ」を開催します。交通安全ポスターコンクール表彰のほか、町内文化サークルや事業所などによる演芸(歌・踊り・寸劇など)が行われます。町民みなさん多数のご来場をお待ちしています。

■問い合わせ先 総務企画課まちづくり推進室企画係(☎84-2111内線223・225)

10/10 ▶ 11/15 マイタウン ダイアリー DIARY

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
										10	・広報「我が郷土」発行日 ・子宮・乳がん検診 《対象地区＝市街5区》	11	
12		13		14	・リハビリ器具開放日 保セ 9:00～11:30	15	・医科診療所午後休診 ・声かけあいさつ運動の日 ・イチイ学園 ・道民交通安全日 ・国民年金・厚生年金支払日 ・秋の全道火災予防運動(31日まで)	16	・リハビリ器具開放日 保セ 9:00～11:30	17		18	・医科診療所午前診療 ・少年ふるさと教室
19	・道民家庭の日 ・宇園別地区学習・文化発表会	20		21	・リハビリ器具開放日 保セ 9:00～11:30	22		23	・当麻町交通安全日 ・リハビリ器具開放日 保セ 9:00～11:30	24		25	
26	・観光施設クローズ ・当麻小学校学習発表会	27	・心配ごと相談日 ・上・下水道使用量納入期限	28	・リハビリ器具開放日 保セ 9:00～11:30	29		30	・リハビリ器具開放日 保セ 9:00～11:30	31	・国民健康保険税第4期納期限 ・後期高齢者医療保険料第4期納期限 ・介護保険料(普通徴収)第4期納期限 ・公営住宅等使用料納入期限	11/1	・医科診療所午前診療 ・全国交通安全日
2	・消防団家庭查察日	3	・生涯学習フェスティバル	4	・声かけあいさつ運動の日 ・リハビリ器具開放日 保セ 9:00～11:30	5	・医科診療所午後休診 ・心配ごと相談日	6	・リハビリ器具開放日 保セ 9:00～11:30 ・乳児健診 保セ 13:00～ ・1歳6カ月児健診 保セ 14:30～	7		8	
9		10	・広報「我が郷土」発行日	11	・公民館講座「大人のための読み聞かせ講座」	12	・子宮・乳がん検診 《対象地区＝中央1、7区、宇園別3区、伊香牛全区》	13		14		15	・医科診療所午前診療 ・道民交通安全日

※町立診療所では月～金曜日は1日診療(第1・3水曜日は午前中のみ診療。第2・4水曜日の午後の診療は午後2時30分から)。第1・3土曜日は午前中のみ診療。
※場所の表示は次のとおり省略しています。 保セ= 保健福祉センター

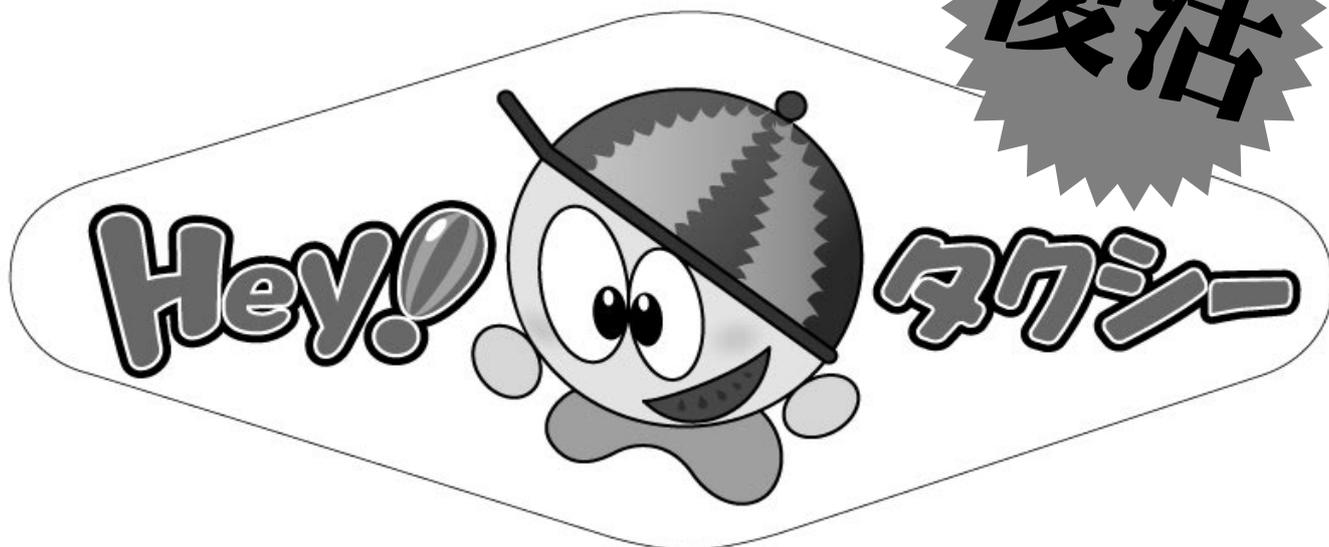
高齢者ハイヤー料金助成券・重度障がい者ハイヤー料金助成券をご利用の方へ

10月1日から助成券を利用できるハイヤー会社に次の会社が加わりました。

有限会社 HEY(ヘイ)タクシー
当麻町3条西2丁目6番5号(☎58-8811)

当麻町にタクシー会社

復活



☆営業時間 AM6:00~AM1:00☆

58-8811

にお電話下さい!



当麻町3条西2丁目6番5号 ☎58-8811 FAX58-8812

有限会社 HEY(ヘイ) タクシー

■次号発行は11月10日(月)です

■発行/当麻町 ■編集/総務企画課 ■通巻/1038号

☎0166-84-2111 FAX0166-84-4883
 〒078-1393 北海道川郡当麻町3条東2丁目11番1号
 ホームページアドレス <http://town.tohma.hokkaido.jp/>
 Eメールアドレス kouhou@town.tohma.hokkaido.jp
 フェイスブック <https://www.facebook.com/town.tohma>
 ユーチューブ <http://www.youtube.com/user/TohmaTownHokkaido>

本広報紙は古紙100%再生紙を使用しています

HELLO BABY!

こんにちは、赤ちゃん

満1歳
おめでとう



堀田 ひめ愛ちゃん
(3西3)



よしとら 義虎ちゃん
(4南3)



松井とうこちゃん
(3西3)



あおい 葵ちゃん
(3西3)

※掲載の赤ちゃんは9月30日現在で当麻町に住居票のある平成25年9月生まれの子どもたちです(町広報撮影)。



市街5区町内会30人が奉仕活動に汗
 9月27日早朝、当麻町市街5区町内会のみなさんが、スポーツセンター敷地内歌壇の草取り奉仕作業を行いました。ありがとうございます。

●人のうごき● 9月末現在・()は前月比

総人口	男	女	世帯数
6,889(-10)	3,201(-6)	3,688(-4)	3,075(0)

※9月号の世帯数で3,074(-7)と記載しましたが正しくは3,075(-6)の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

町長室の窓から

(128)

二度と起きてほしくない
悲しい出来事

哀悼の気持ちを込めてペンを走らせている。
 「生きていてほしい。そのま
 ま無事な姿で帰っておいで」行方
 不明という極限の精神状態の下、
 親御さんは一日千秋の思いで祈
 り続けたに違いない。
 あまりにもむごい結末である。
 神戸市の小学1年生、生田美
 玲さんは、複数のポリ袋に入れ
 られ、自宅近くの雑木林に無造
 作に捨てられていた。
 某新聞の寸評が、悲しい気持
 ちを写し出す。
 (神戸市長田区の雑木林で子
 どもの遺体が見つかり、行方不
 明になっていた生田美玲さん
 (6)と確認された。

日本一短い「母」への手紙の
 一編、(お母さん寂しくなっ
 たら鏡見てね。きつとその中に同
 じ顔した私がいるから)
 旅立ちの日、寂しさに暮れる
 母を案じ、子どもが詠んだ手紙
 と思われる。
 風の音に心が騒ぎ、何か変
 わったことが起きてはいないだ
 ろうか、おいしい物を口にす
 る度にあの子にも食べさせてあげ
 たい……。いつの時代でも、子
 を持つ親であれば思う心は同じ
 である。
 このコーナーで、悲しい出来事
 と書かせていただいた3カ月。
 再び悲しい出来事を書くこと
 は忍びないが、生田美玲さんへ

美玲さんは歌とダンスが大
 好きで、楽しみにしていた運動
 会のダンスを熱心に練習して
 いた。
 神戸市立名倉小学校の平井正
 裕校長は、容疑者逮捕の24日夜、
 母親に電話をかけてお悔みの言
 葉を述べられた。
 美玲さんのお母さん(29)は、
 「子どもたちのために運動会を
 開いてほしい」と、電話の中で
 泣きながら話していたという。
 その運動会は、10月4日に開
 催された。
 悲しみの中で頑張ったお友だ
 ちの姿は、きつと天国の美玲さ
 んに届いたことを祈っている。

青い日傘を差して、遊びに出
 かけた女の子であった。
 日焼けを気にして、チョット
 気取って化粧をした。
 いつかそんな大人の女性にな
 ろうと思ったかもしれない。
 未来はむごくも断たれた。
 遺体は切断されていたという。
 傘を握ったその小さな手が、
 ポリ袋のなかで冷たくなって
 いた。
 読む度に涙がほほを伝う。
 歳のせいで涙せんが緩んだば
 かりではない。起こる出来事が
 あまりにも悲し過ぎる。
 美玲さんが通っていた小学校
 では、9月27日開催予定だった
 運動会の取りやめを決めた。

菊川健一(きくかわ・けんいち)/当麻町長



ケーブルテレビとスマホのセットがおトク



ポテトとスマホで家計を節約。



auスマートバリュー auへのお申し込み必要

auスマートフォンのご利用料金から最大2年間

毎月 **¥1,410** OFF!

※税抜

×ご家族の人数分

(永年 934円/月 + 最大2年間 476円/月 ※税抜)

※ポテトサービスとau携帯電話のご契約者が同一姓・同一住所の場合、お申込みいただけます。※お申込み翌月から割引適用となります。※「auスマートバリュー (R)」は、イーエムシー株式会社の登録商標です。
●その他の条件など、詳しくはポテトまたはauショップ店頭スタッフにご確認下さい。

好評受付中

お申し込みはauショップにて

旭川ケーブルテレビのサービスとauスマホをセットで、毎月の利用料がおトクに。



auスマートバリュー適用サービス



インターネット
光ハイブリッド120コース +
光100*コース
(※東川・愛別・鷹栖のみ)



KDDIとポテトが提携した固定電話

ケーブルプラス電話

- 基本料金・通話料がおトク!
- 今お使いの電話機・電話番号そのままOK*1



auスマートフォン
「LTEフラット」または「ISフラット」

auスマートバリュー対象コース



インターネット
光ハイブリッド120/光100
5,000円(税込5,400円)



ケーブルプラス電話
1,330円(税込1,436円)

セット割引
-810円
(税込-875円)

月額利用料 **5,520円**
(税込 **5,961円**)

ネット120M



ケーブルプラス電話



ケーブルテレビ

充実の72ch!

セット割引
-1,850円(税込-1,998円)

月額利用料 **8,280円(税込8,942円)**



無料パソコン講座 当麻

会場：当麻町公民館
「まとまーる」

Windows Vista/7/8 のパソコンで行います。ご自身のノートパソコンをお持ちいただいてもOKです。

10/23 (木)

午前 (10:30 ~ 12:00) 電子メールの基本から便利な使い方 + Windows の基本から便利な使い方
午後 (13:30 ~ 15:00) インターネットの基本から便利な使い方 + Windows の基本から便利な使い方



地域に「貢献・密着・活性化」



旭川ケーブルテレビ株式会社

〒070-0058 旭川市8条西2丁目
営業時間 / 9:00~20:00(土・日・祝日も営業)

●お問い合わせ
お申し込み先

TEL 0166-22-0707

●新規加入の
お申し込み専用

0800-080-0707

050のIP電話、携帯電話からのご利用はできません。